



館山市議会 議長
安房郡市広域市町村圏
事務組合 議会議員
建設経済委員会委員

新政クラブ 石井信重 感謝と決意をもって!

市民の皆様には、日頃より市議会に対しましてのご理解、またご支援ご協力、そして多くのご意見等を賜り、厚く御礼、感謝申し上げます。気象庁が数十年ぶりに命名した「令和元年房総半島台風(15号)」、令和元年東日本台風(19号)、そしてその後の記録的な豪雨など、昨年は未曾有の大災害に見舞われ甚大な被害を受けました。被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願わずにはられません。台風の名前に「房総半島」が使われたという事実は、私達にこの経験を記憶し、日頃から防災意識を持つ大切さをしっかりと後世に伝えていくという重要性を

示唆してくれているものと感じております。議会運営においては市民の皆様、災害対応を第一優先に考え9月の第3回定例会、12月の第4回定例会も日程を大幅に変更し短縮された中にも集中した質の高い審議に努めました。また、発災後に全18議員で構成する議会災害対策会議を設置し、各地域で活動する議員間で被災状況や必要な要望等を報告し合いその貴重な情報を集約して、議会を代表し議長として市の災害対策本部会議へ出席、その情報の提供と市側からの最新情報を全議

員と共有し市民の皆様へ伝えるとともに一体となった活動に努力して参りました。現在、独自の議会災害対策マニュアル作成にも取り組んでおります。その活動の中で実感したものは、ただ行政と市民の皆様との情報のパイプ役だけではなく、自ら冷静に的確に状況を見極め判断し、必要とされていることを優先順位も考慮し少しでも実際に形にしていこうとありました。ボランティアの方々をはじめ多くの皆様のご支援があったからこそ今があることに感謝をし、胸に秘めつつ、この貴重な経験を今後活かして参りたいと思います。また、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、現在も特別な体制での議会運営を行っておりますが、このような状況下で議長という重責を担わせて頂いている意味を真摯に受け止め、更に自身を鼓舞し議会として議員としての在り方にあらためて思いを深くしこれからも邁進して参りたいと存じます。



館山市議会議員
総務委員会 委員長
三芳水道企業団議会 議長

新政クラブ 望月昇 いまこそワンチームに!

昨年の台風、大雨の被害は市民の皆様にとっても甚大なつめ跡を残してしまいました。未だに御苦労されている方々に、心よりお見舞い申し上げます。行政として様々な財源を模索し、復旧復興に努めているところです。今後起こりえるかも知れない災害に対しては、私は『空振りには許されるが見逃しは許されない』という出来る限りの万全の対策を打っていこうと思います。2020年になり息をつく間もなく、新型コロナウイルス感染症の問題が広がってきました。今のところ、予防、また善後策の準備をしております。

姿を見せない未知の病気であることから、未だご安心くださいとは言えません。まずは日常生活より自助努力をお願い致します。東京オリンピック・パラリンピックが来年に開催延期されることになりましたが、館山出身の鈴木朋樹選手が車いすマラソン出場に内定されているので本当に楽しみです。郷土の宝として全力を出してもらえよう全市をあげて、ワンチームとなって応援していきましょう。そして、今まで以上に誰もがあこがれる『笑顔あふれる自然豊かな“あったかふるさと”館山』を目指していきたいと考えています。



館山市議会議員
文教民生委員会 委員
議会運営委員会 委員

新政クラブ 鈴木ひとみ 館山が大好きだから!

子育てをしたいと思えるまちに、未来まで安心して暮らせるまちに、経済的にも豊かなまちにという3つの大きなテーマを掲げて活動しています。令和元年度6月の議会では幼児教育の充実、子育て支援、高齢者の移動手段、廃校の利活用などを提案してきました。9月、10月の台風と大雨以降は議会の災害対策会議に参加しながら地域でボランティア活動を行い、市と地域との橋渡しをしました。他の自治体の取り組みも学ぶため、全国災害ボランティア議員連盟にも加入しています。復旧、復興と同時に災害に強い地域づくりが必須であると考えています。

台風、新型コロナウイルスの影響で地域経済が大きな打撃を受けています。けれども館山市には豊かな農水産物、豊かな自然、文化があります。これらを活かせば、必ず道は開けます。市民の皆様と一緒にこの先のまちづくりを考えていきたいと思えます。一年間の議員活動を通して、地域での人と人のつながりの大切さ、頼もしさを学びました。これからも地域に根ざし地域の声を市政へ届ける活動をしていきます。女性だから見えること、おばさんだからできる活動があると考えています。



館山市議会議員
総務委員会 委員
民生委員推薦会 委員

新政クラブ 倉田孝浩 コミュニティの力に期待!

「議員になったばかりで大変ね!」と、知人や市民の皆様から声を掛けられる今日この頃です。市議会議員になって一年弱、市や行政の事を諸先輩議員から、アドバイスを受けながら、勉強模索してきました。台風・豪雨による甚大な被害を館山市は被り、過去に無い未曾有の打撃を受けました。行政と並び、議会としても数十回に渡り「災害対策会議」を開き、少しでも被災した皆様の復旧・復興に役立ちたいと活動してきました。近隣の壊れたビニールハウスの撤去作業やブルーシート張りの手伝いなど、市民の皆様と接する中で、災害時における議員としての

役目に気付かせて頂きました。災害が起こった時、日頃からの町内・近所との付き合いが地区防災力の向上になり、ご近所のコミュニティ能力が高いほど、災害に強いと言われております。自助・共助・公助と共にこの“近助”に力を入れていきたいと思えます。私が参加する「まるごみ活動」も、ただゴミを拾って街をキレイにするだけでなく、同じ日・同じ時間・同じ思いでゴミを拾い、いざという時にお互いに助け合いましょう!というコミュニティ意識を高める活動です。この「まるごみ活動」も更に広めたいと考えています。